

株式市場新聞

www.marketpress.jp

発行元 株式会社 株式市場新聞社

〒530-0005

大阪市北区中之島4-2-28 甲南アセット中之島ビル

TEL 06-6105-1904



1 第297号

日経平均株価

3万0500円05銭

▲176円71銭(前日比)

TOPIX

2100.17

▲10.01(前日比)

2021
9/20
月曜日

総裁選接近で狙う銘柄は

各候補者の政策から現実買いへ

自民党総裁選が9月17日に告示され29日に投開票日を迎える。菅総裁が不出馬を表明したこと、当初は岸田氏と菅総裁の一騎打ちと見られていた状況から一変して、複数の候補者が争う構図になった。これまでは立候補予定者自体で思惑が先行していたが、正式な候補者が出揃ったことから、マーケットはより次期政権に対して現実に近い形で関連銘柄買いに移行しそうだ。総裁選立候補者の政策とそれらに絡む関連銘柄を改めて探ってみた。

環境や人材活用、エネルギー

補者と
もに大
きな違



今回の総裁選は——した岸田文雄氏と国民から支持率が高い河野太郎氏、安倍晋三前総裁の支持を得て立候補する高市早苗氏と野田聖子氏で争われることとなる。コロナ

自民党総裁各候補者の政策は？

再生を並行して進める政策は各候補

いはないが、規制改革については岸田氏は中立、河野氏は積極的で、高市氏はアベノミクスの継承を明言し保守的な印象があるようだ。環境対策については河野氏は積極的であることから再生エネルギー関連であるウエストホールディングス(1407)やレノバ(9519)などが人気化した。岸田氏は令和版所

得倍増計画を標榜し、高齢者の人材活用に意欲を見せていることから、この絡みではパソナグループ(2168)やフルキャストホールディングス(4848)などが浮かぶ。

高市氏は自然災害や気候変動に対応するため10年間で100兆円を集めるべく環境エネルギー省創設を提唱している

ことから、この絡みではライト工業(1926)や日特建設(1929)などが挙げられる。

岸田・高市の両氏の共通なら原発の再稼働で、電力株の見直しに進む可能性もあり、医療体制の強化は全候補者共通でエムスリー(2413)などが注目さ、デジタル化の推進も前政権から引き継ぎ候補者全員の共通政策になる。

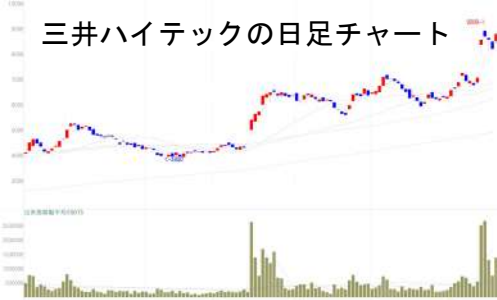
日経平均日足チャート



前週の動意銘柄

三井ハイ続騰し新値

電子部品好調で今期上方修正



三井ハイテックの日足チャート

高で1234億円(前期比38.5%増)、営業利益で80億円(同3.1倍)へ上方修正

週明け13日、三井ハイテック(696)が続騰、年初来高値を更新した。22年12月の業績予想について、連結売上

正。電子部品で情報通信機器や車載向け半導体用リードフレーム、電機部品は電動車向け駆動・発電用モーターコアの想定以上に伸張した。

サインポストS高

サインポスト(3996)ストップ高。ファミリーマート(3996)が無人のコンビニエンスストア店舗を24年度末ま

でに約1000店出店すると伝わったことで、AIにより無人で精算が可能なレジスター「ワンダーレジ」の研究開発を進める同社に買いが殺到した。本格的な無人店の大規模展開は国内初で、同社とJR東日本スタートアップの合弁会社TUCHITOGOのノウハウを使うとされている。

東海上自社株買いで新値

14日、東京海上ホールディングス(8766)が大幅に3日続伸、年初来高値を更新した。自己株式取得枠の設定を発表、上限75万株(発行済株式総数に対する割合1.1%)または300億円、取得期間が9月14日〜11月30日と短く、株価浮揚効果が大きいと判断された。機動的な資本政策

を遂行するため。神戸物産(3038)が大幅続落。21年10月期第3四半期累計の連結営業利益は212億2800万円(前年同期比13.7%増)と2ケタ超の増益で着地したが、業務スーパー出店増による業績拡大は織り込でおり、当面の

神戸物産(3038)

8)が大幅続落。21年10月期第3四半期累計の連結営業利益は212億2800万円(前年同期比13.7%増)と2ケタ超の増益で着地したが、業務スーパー出店増による業績拡大は織り込でおり、当面の

シルバライフ35%減益

シルバライフ(9262)が急落し年初来安値。22年7期は営業利益5億5000万円(前期比34.5%減)と大幅減益を予想したことが嫌気された。第3ブランド「宅食ライフ」を立ち上げ販売を強化するが、広告宣伝費や工場の減価償却費が収益を圧迫する。

ダイコク電大幅増額

出尽し感から利益確定売りがかさんだ。

J.フロントリ

テイリング(3086)や高島屋(8233)、三越伊勢丹ホールディングス(3099)、松屋(8237)などの百貨店株が買われた。政府は13日ワクチンを2回打ち終えた人の割合が5割を超えたと発表、新規感染者も急速に減少している

正直いいさんの株で大判小判

前週の東京市場は4週連続高で、31年ぶりの高値水準へ浮上しました。日経平均の上昇幅は3486円、率にして12.9%に達し、高値更新後はさすがに上げ一服となりましたが、週末17日も押し目買い0円台を維持して引けており、予想以上に底の経済対策動産大手の度の反応は週は立ち合え、FOMCが開催されること

先高感強い状況に変わらない

から、米金融政策様子見ムードが海外から中長期高感の強い状況。推奨銘柄はおおむね堅調です。連休明けは海運や半導体など強い銘柄がさらに上値を迫るのか、出遅れセクタ

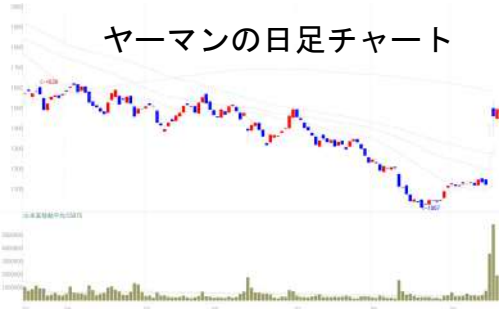
1が見直されるのか、まずは物色の流れを見極めたい考えです。花咲翁



川西倉は増額で新値

15日、川西倉庫(9322)が大幅に4日続伸、年初来高値を更新した。22年3月期の業績予想について、連結営業利益で5億円から7億4000万円(前期比58.1%増)へ上方修正した。国内の倉庫業務の取扱高、保管高が当初予想より下回って推移しているものの、神戸港での港湾運送業務が当初予想に比べ大きく改善した。

ヤーマンの日足チャート



15日、ヤーマン(6630)がストップ高。同社は14日の取引終了後、22年4月期の第1四半期累計決算を発表、連結営業利益で前年同期比75・8%増の29億2900万円と大幅な増益となった。地上波テレビ通販を中心に、各販路とも堅調に推移しており、通期計画の64億円(前期比4・6%増)に対する1Qの進捗率は46%に達し、収益上振れ

ヤーマンはストップ高

1Q 76%増益で上振れ期待

が期待された。

GAテクノ一転赤字

GA Technologies(3491)がストップ安。21年10月期予想について、営業損益を24億550

0万円の黒字から4億9000万円の赤字(前期18億8800万円の黒字)へ下方修正した。取引量は拡大しているが、中古不動産調達価格高騰で粗利率が低下、第3四半期は38%の大幅増収ながら、営業損益2億8400万円の赤字(前年同期6億8400万円の黒字)に転落した。

日鑄造半導体向け合金

買いを集めた。半導体製造装置メーカー向けに20年度は欧州、21年度からはアジアへの輸出を開始、引き合いは増え

16日、日本鑄造(5609)がストップ高まで買われ年初来高値を更新した。一部報道で独自開発の低熱膨張合金「LEX(レックス)」の輸出を開始したと伝わったことを受け、収益貢献を期待した

宮越HD中国不動産問題

宮越ホールディングス(6620)が急落、東証1部下落率トップになった。中国不動産大手の恒大集団のデフォルト問題が波紋を広げ、財務基盤の弱い現地不動産会社の株式や社債の下落が目立っており、広東省深セン市を拠点に不動産開発と賃貸管理を行う同社への影響を警戒した売りがかさんだ。

LINE 証券

LINEではじめる
株投資

ネット証券No.1

スマホで株取引するなら、
LINE証券！

投資をはじめよう!

\LINE証券口座開設でもらえる/
最高3株分の購入代金

自己
資金

0

円

要エントリー

marketpress.jp のバナー広告をクリック！

米戸建住宅事業を拡大

大和ハウス工業

フロリダ州エイベックス社買収

スタンレー・マーチン社（本社：バージニア州）は9日、フロリダ州で戸建住宅事業を行うエイベックス・ホームズ社と事業譲渡契約を結び、今月下旬に関係会社を含めて買収することになった。

同社は今期が最終年度となる「第6次中期経営計画」で海外売上高4000億円を目指しており、17年スタンレー社を買収、米戸建住宅事業に進出した。以降、サウスカロライナ州とサウスカロライナ州の全ての主要戸建住宅事業、テキサス州でも買収を進めており、

企業レター

大和ハウス工業（1925）グループの米

エイベックス社が管理するオーランドとタンパの約4700区画の戸建分譲住宅地を含む事業買収によりフロリダ州にも事業を拡げる。フロリダ州は東海岸最大の戸建住宅マーケットで、20年のオーランドの新築戸建住宅引渡戸数は1万3521戸で全米7位、タンパは1万3067戸で全米8位。IT、航空・宇宙、映画・テレビ制作などの産業に加え、観光都市としても人気が高く、今後も雇用や人口の成長が予想され、州所得税非課税でリタイアメント層の移住先としても有望。スタンレー社のノウハウを生かし事業を拡大する。

前週の動意銘柄

日本製鉄（540）が急落。24年と26年満期のユーロ円建転換社債（CB）型新株予約権付社債を発行すると発表したこと、潜在的希薄化が懸念された。新株予約権が株式転換された場合、潜在株式が最大で11・02%増える。発行金額は合計300億円。高機能銅材や脱炭素関連技術開発などに充当する。

クロスキャットS高（2307）がスト

期第2四半期累計の連結営業利益予想を1億8000万円から4億円（前期比3・1倍）へ上方修正した。官公庁、通信や製造向け案件が好調。

日本空調急伸し高値

有価証券一部売却で上方修正

日本空調（93）が急反発。集計中の20年2月期第2四半期累計の連結業績について、営業利益を1億3400万円から2億2800万円（前年同期比20・3%減）へ大幅に上方修正した。クラウドシステムのリリースやオペレーションセンター開設が予定より遅れ、費用計上が抑制された。新型コロナウイルス感染拡大などにより、今後の見通しは未だ不透明として、通期は5億円（前期比1・6%増）と従来予想を据え置いた。

を売却したため。

エスクロAJ大幅増額

週末17日、エスクロAJ・エージェン

日本空調の日足チャート



海外勢に買い余力

先週の東京株式市場は4週連続となりました。14日には日経平均が年初来高値を更新。ただ先々週が週間で1253円、3週前が1487円の上昇でしたが、先週は119円にとどまりました。流石に急ピッチの上昇による過熱を意識した形です。今回の急騰はやはり海外勢による日本株投資が活発化したことが要因です。現物と先物合計で3週連続の買い越し。しかも8月最終週が3300億円（現物は45億売り越し）だったのに対し9月1週目が6627億円（同3669億円買い越し）、そして9月2週目は1兆547億円（同3010億円買い越し）と週を追うごとに急増しました。しかし、昨年まで3年間で約10兆円売り越していますので、まだまだ買い余力はあり、今後は現物株の手当てに移ると思われれます。今週は20日に変化日が到来しますので、こういった反応をするか楽しみです。

日々勇太郎

日本製鉄は稀薄化警戒



下値のメドは3万円

としており、最大の懸念材料を乗り切れる可能

高野恭壽の株式情報

これでどや!!

株式市場新聞の名物コーナーが復活!



薄れよう
長懸念も
宣言の延
緊急事態
ており、

日経平均は急ピッチの上昇で上値が重くなってきました。自民党の総裁選が始まったことと一旦、様子見となったことも原因といえます。2週間の間の総裁選の結果をみようとわけてみても、これまで岸田氏、高市氏、河野氏が立候補を表明していましたが、ギリギリになつて野田氏が滑り込みで立候補を表明しました。下馬評では河野氏と高市氏の争いという見方が強いようです。経済政策面で期待が大きいのは高市氏です。河野氏も経済対策に力を入れている見込みですが、どこまで突っ込んで政策を出すかが注目されます。コロナの感染状況も次第に落ち着きを取り戻し始めており、

総裁選始まり見送りムード

性が高まるうとしています。目先的に日経平均は調整色を強めますが、3万円割れ辺りが下値のメドとみられており、突込み場面は拾う姿勢が必要で、全体が調整し始めたことで材料系の銘柄が動き始めました。日水(1332)、千代建(6366)、主力系ではNEC(6701)が上値を追い局面が変化しました。また、三井化学(4183)も注目段階にあります。ゼルコンも大林組(1802)などが注目されそうです。低位では双日(2768)がジリ高傾向が続いており、目を離せません。東電(9501)も300円前後でのみあいから反発を見せました。川重、野村HDなどは反落が大きくなり、ここからの下落は限定的とみています。引きつづき注目です。

高野恭壽(たかのやすひさ)氏 株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家へ。講演会のほかラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに出演。「株式投資30カ条」など著書も。

公式ホームページ

<https://marketpress.jp/kabu-takano/>

松井証券

今こそ始めるデイトレード

松井証券の一日信用取引

手数料0円 金利・貸株料0~1.8%

取引
コスト

プレミアム
空売り

独自
サービス

最短3分でお申込み完了!

【無料】新規口座開設はこちら

marketpress.jpのバナーをクリック



再度「当たり」期待十分

「確変」から「時短」モードへ

先週の日経平均は前週末比約118円高と4週連続陽線となった。日足では12本連続陽線で「確変」は終了したが今は「時短」モードに入っている。

通常なら売り材料になる北朝鮮のミサイル発射や中国の大手不動産会社「恒大集団」の経営危機問題にも売りで反応しないところが相場の強さを物語っている。上昇ピッチが速い

ために木曜日には5日線を割れて下落したが、金曜日にはすぐさま上昇、買い意欲の強さを見せつけた。「時短」からの再度「当たり」が十分期待できよう。

背景には「日本改革」期待であるがこの流れは総裁選が終わるまでは続きそうである。ただ、1カ月で約3841円（14.2%）上昇しており上昇ピッチは速い。5日線（3万0491円）や転換線（3万0291円）も、新値三本足の陰転値（3万0181円21銭）などが割

つてくると仕掛け売りが入ってくるため注意が必要である。

一方で野村証券によると「日経平均先物7万枚天井」と海外投資家の先物建玉が7万になると日経平均は天井になるというものだ。9月10日時点で買い建玉は3万2000枚であり買い余力は十分であるという事だ。

敏腕先物ディーラー

ハチロクの裏話



ハチロクのプロフィール
証券アナリストから証券会社の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。

の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。



「時短」からの再度「当たり」が十分期待できよう

NYダウの日足チャート



海外投資家は「菅政権」に見切りをつけ、日本株を売り出した途端の総裁選不出馬でカウンタパンチを受けている状況である。誰になるかわからないが新総裁が的確な経済対策やコロナ対策を打ち出せば再度の「確変」も可能であろう。3万円を割らずに「買い戻し」をできていない投資家の

焦りを呼ぶことになり、息の長い上昇相場へつながる。新型コロナウイルスの2回目ワクチン接種終了率が50%を超えてきており、米国や欧州と並んできた。出遅れていた株価も追い付いてきた。アベノミクスでは平均PER14倍まで買われきた。今の株価では3万1000円処である。ワクチン接種率の増加とともに経済回復の期待も高まり、アノマリイ通り選挙の投票日までには上昇傾向が続くと思われる。

今週は連休を挟むため3日立ち合いであるが堅調な動きを想定する。レンジは3万0000円から3万10000円を想定する。
(ハチロク)

日経225先物の日足チャート



星野三太郎の株街往来

～総裁選に翻弄されるマーケット～

菅総理

菅総理の総裁選不出馬表明後に日経平均では2週間で20000円超の大幅上昇を演じた。次期政権への期待が背景にあるが、上昇を演出したのは外資による先物買いと、これと連動した225オプション取引でのコールの買い戻しが必要だろうから、今回の急騰場面を見ていただけで買うタイミングを逃した投資家は多いだろう。

自民党の総裁に選ばれても次期衆院選で過半数を確保しないと首相にはなれないから、本来なら総裁選の時点で大騒ぎするのはおかしい。ただ、野党への期待感がゼロに近いのだから、日本の場合は自民党総裁と首相という流れが支配的になっている。本来なら野党が自民党の政策に対抗できるものを打ち出せば、与野党を超えて政策と次期政権への国民の関心がたかまるのだろうが、それが期待できない状況は情けない。

しかも総裁選候補者全員が良い政策を打ち出している訳ではない。例えば20%から30%増税を打ち出しているのが高市氏。税金を取りやすいところから増税の印象は拭えず、こういう政策チェックは必要だ。



菅総理の総裁選不出馬表明後に日経平均では2週間で20000円超の大幅上昇を演じた。次期政権への期待が背景にあるが、上昇を演出したのは外資による先物買いと、これと連動した225オプション取引でのコールの買い戻しが必要だろうから、今回の急騰場面を見ていただけで買うタイミングを逃した投資家は多いだろう。



「IREZZA 88R」を装着した「GRYARIS」



住友ゴム工業(5110)は10月1日から全国公開される映画「僕と彼女とラリー」とラリーと「DUNLOPブランドで協賛し、ラリー用タイヤDUNLOP「IREZZA 88R」(タイヤサイズ:205/65R15 94Q)を提供した。

名古屋工場で製造される「僕と彼女とラリー」とは「FIA世界ラリー選手権(WRC)」が2021年11月に開催される愛知県豊田市、岐阜県恵那市を舞台に、葛藤を抱えた若者が故郷の美しい自然と人々の温かさに触れ、自身の夢と大切な絆を取り戻す姿を描いた映画。

住友ゴム工業

ラリー用タイヤ提供

映画「僕と彼女とラリーと」

た本々 イヤは、劇中のラリー車両「GRYARIS」

企業レター

経済産業大臣賞を受賞

住江織物

水平循環型リサイクルタイルカーペット



エコス

一般社団法人サステナブル経営推進機構が主催する「第4回エコプロアワード」において、住江織物(3505)の「水平循環型リサイクルカーペット」(ECOS)が、環境への配慮と経済性を両立したオンリーワン商品。建築関連の資材におけるリサイクル製品の利用が日本ではなかなか広がっていない。その理由のひとつが建設業界の閉鎖的なサプライチェーンにあると言われている。そうした市場で住江織物はすでに安定したサプライチェーンを有しており、動静脈を連携できるポジションにもある。こうした事例が参考になり、建築業界にリユース・リサイクル製品の普及が広がることを今回の受賞では期待している。

(エコス)シリーズが、「経済産業大臣賞」を受賞した。「ECOS」は、環境への配慮

相場見通し

記者の視点

20日は今週は、23日に敬老の日、秋分の日で祝日となることから立ち合います。3日間しかありません。しかも21日から日銀金融政策決定会合が開催され、翌22日に黒田総裁の会見、米国のFOMCでの21日からパウエル会見が予定されており、日米の金融イベントでポジションも傾け難く、積り難い動きが底堅い動きが続いた。ニューヨク市場についてはダウで7

日米金融イベント注視

大証取新システム稼働の影響も

5日移動平均線まで調整し、上値が重い動きになったが、日本については新型コロナの新規感染者数の減少が続いたことに加えて、自民党総裁選の候補者が出揃ったことで新政権下での経済対策への期待が高まったこと

が買い材料になった。中国では不動産大手・恒大集団のデフォルト問題が深刻化しているが、週末の動きを見る限り過度に悪材料視はされていないようだ。

9月第3週の東京市場は14日に日経平均で3万795円78銭まで買われ31年ぶりの高値を更新、その後高値警戒と3連休前の手仕舞い売りで上値が重くなつが、底堅い動きが続いた。ニューヨク市場についてはダウで7

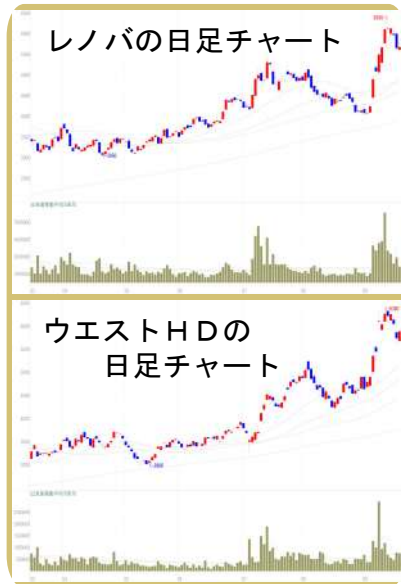
9月第3週の日となることから立ち合います。3日間しかありません。しかも21日から日銀金融政策決定会合が開催され、翌22日に黒田総裁の会見、米国のFOMCでの21日からパウエル会見が予定されており、日米の金融イベントでポジションも傾け難く、積り難い動きが底堅い動きが続いた。ニューヨク市場についてはダウで7

（東マ・4371）の3社が同時上場となり、秋のIPOがスタートする。初値の動向次第では新興市場に資金が向かう可能性もある。自民党総裁選については、野田氏の立候補で、その動向が混沌としてきた。これまで河野氏優位で改選期待からレノバ（9519）やウエストホールディングス（1407）など再生エネルギー関連が買われてきたが、金融所得増税や原発再稼働など保守的政策を掲げる高市氏などが優位になれば、物色の流れが変わる可能性がある。注

秋分の日で祝日となること

から立ち合います。3日間しかありません。しかも21日から日銀金融政策決定会合が開催され、翌22日に黒田総裁の会見、米国のFOMCでの21日からパウエル会見が予定されており、日米の金融イベントでポジションも傾け難く、積り難い動きが底堅い動きが続いた。ニューヨク市場についてはダウで7

（東マ・4373）、ユミ（東マ・4372）、意（東マ・4371）の3社が同時上場となり、秋のIPOがスタートする。初値の動向次第では新興市場に資金が向かう可能性もある。自民党総裁選については、野田氏の立候補で、その動向が混沌としてきた。これまで河野氏優位で改選期待からレノバ（9519）やウエストホールディングス（1407）など再生エネルギー関連が買われてきたが、金融所得増税や原発再稼働など保守的政策を掲げる高市氏などが優位になれば、物色の流れが変わる可能性がある。注



当面のスケジュール

- ・21日 日銀金融政策決定会合（～22日）
FOMC（～22日）
米4-6月期経常収支、米8月住宅着工件数（21:30）
米20年国債入札
- ・22日 黒田日銀総裁会見
パウエルFRB議長会見（経済見通し）
米8月中古住宅販売件数（23:00）
- ・24日 8月消費者物価（8:30）
独9月Ifo景況感指数（17:00）
米8月新築住宅販売件数（23:00）

編集後記

今週日曜日は地元で一斉清掃がある。春と秋年2回実施されるが、近所には中級規模の川が流れていて、秋は夏場に伸び放題になつた堤防の雑草を刈り取るのが一苦勞、毎年へトへトになつてしまふ。ところが、近くを通ると草の茂り具合が例年に比べてかなり少ない。雑草も野菜と同じで長雨と日照不足で生育不良なのだろう。今年の秋は楽しんで終われるとホッとしている。さて、東京市場は31年ぶり高値に浮上した。ただ、個別は海運や半導体などに物色が偏っており、生育不良の出遅れセクターが多い。

【ご注意】株式市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被られたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任をお願いいたします。